

平成28年（2016年）9月1日

各部（局）長様

財 務 部 長

平成29年度予算編成について（通知）

平成29年度予算編成においては、使途別フレーム目標方式の導入（下記参照）など編成方法の一部を見直すとともに、効率的に編成作業を進めるため、スケジュールを一部前倒しすることとしましたので通知します。

[平成29年度予算編成における変更点]

◆ 使途別フレーム目標方式の導入

- 従来の枠配分方式を維持しながら、「普通建設事業費」（以下「事業費」という）、「社会保障関係経費」、「維持補修費」、「新規・拡充事業」の4つのフレームを設定し、各フレームごとに目標額（予算上の上限額）を設定することにより、本市予算全体の最適化を図ります。
- 部局ごとの目標額設定・配分は行いません。設定した目標額を達成するために財政課が部局間調整を行います。

◆ スケジュールの一部前倒し

- 設定したフレームのうち、「事業費」及び「社会保障関係経費」については、予算要求事務のスタートを10月から9月に、予算内示時期を1月中旬から年内（12月下旬）に前倒しします。
- スケジュールの詳細は、別紙「平成29年度予算編成 主な日程」を参照してください。

◆ 予算調整会議の見直し

- 予算調整会議の審議結果（予算化の可否）は、同会議において全ての案件の議論を終えた後、案件ごとの優先順位等を考慮のうえ決定する方法に変更します。
- 「事業費」「社会保障関係経費」「維持補修費」の各フレームに係る予算内示は、フレーム内の予算額を調整・査定していることを踏まえ、原則として予算調整会議の対象外とします。

[予算編成における留意事項]

◆ 総則

- 平成29年度行財政運営方針の「予算編成に関する方針」（P7）に沿って、予算編成を行ってください。
- 予算編成にあたっては、部局長による査定を実施し、既存事業の見直しなどより一層の調整を図ってください。
- 具体的な事務については、「平成29年度予算編成事務要領（事業費・社会保障関係経費編）」をご確認ください。

◆ 「事業費」における予算編成について

- 事業費フレームにおける一般財源の目標額（必達）は50億円とします。
- 各部局においては、細事業単位を基本として優先順位をつけることとします。
- 当該経費に係る予算については、予算要求課より副市長への説明の場を設けます。

◆ 「社会保障関係経費」における予算編成について

- 社会保障関係経費フレームにおける一般財源の目標額（必達）は151億円とします。
- 「社会保障関係経費に係る基本的な考え方」（平成28年8月改定）に沿って予算編成を行ってください。
なお、社会保障関係経費の増大にかかる財源の確保については、一義的には所管部局における事業見直し等により対応するものですが、財政運営上の大きな課題であることから、状況に応じて全庁的な調整を行います。
- 「社会保障関係経費」の中でも増大が著しい扶助費と、制度改正に伴う新たな取組みや顕著な伸びのある事業に係る物件費・補助費等については目単位ごとの目標額を設定し、調整します。
- 各部局においては、国の制度改正の動向等に関する情報収集を徹底し、国庫支出金等の特定財源を漏れなく確保するとともに、扶助費など増傾向の経費に伴う追加財源は、関連する既存事業を見直すなど調整してください。
- 当該経費に係る予算編成の状況については、中間集約し関係部局に情報提供します。また、編成状況に応じ、社会保障関係経費の総額調整等について、関係部局及び財政課による協議・調整の場を設けます。